

安全に生活するために

～危険から自分や友達を守ろう～

年 組 番 名前



このシートは、あなた自身が危険を知り、自分の安全を守るために行動できる力を養うために用意されたシートです。このシートをもとに、保護者や学校の先生たちと一緒に考え、地域の人たちの防犯活動を知って、自分や友達の安全を守るために役立てましょう。

それでは、シートによる学習や話し合いを始めましょう。

チェック①

こんな時、どうすればいいのだろうか？

■知らない人が、いろいろな方法で声をかけてくるのが考えられます。

次のような場合、あなたはどうしますか。保護者と一緒に考えてみよう！

あなたが、一人で道を歩いていると、車から優しそうな知らない大人の人が、すごく困った様子で、あなたに話しかけてきました。

「あのう、すみません、こんにちは。急におなかが痛くなって困っているんです。病院に行きたいのだけれど、近くに病院ありませんか？」(苦しそうな表情で)

「近くの病院までの道を教えてください。お願いします。」

「車に乗って病院まで案内して欲しいんで…。(苦しそうに)お願いします。」

あなたは、どう考え、どう行動しますか？

●あなたの考え—

●保護者の考え—

どう行動したらよいか？保護者と一緒に考え、望ましい行動にチェック(✓)してみよう！

- ア 優しそうな人だし、困っているのだから、車に乗って案内してあげる。
- イ ともかく車から離れ、「近くの大人のの人に知らせてあげますよ。」と言って、近くの大人や交番などに知らせる。
- ウ 知らない人にはついていけない。
- エ 「近くの交番やガソリンスタンドで聞いてください。」と言って、車の反対方向に立ち去る。
- オ 無視して、立ち去る。
- カ 車には乗らないが、車に近寄って地図などを見ながら教えてあげる。

こうした場合の行動の仕方について、保護者と約束したことを書いておきましょう！

チェック②

こんな時、どうすればいいのだろうか？

■外出の仕方や道の選び方について考えることも大切です。

どんな行動がよいか？保護者と一緒に考え、望ましい行動の欄にチェック（✓）してみよう。

- ア 一人でも早足なら安全だし、暗い道でも近道する方が早く帰れるから一番よい。
- イ 通学路や出かける時の道など通常使う道は、安全な道順を保護者と相談して決めておく。
- ウ 出かける時は「行き先」「帰宅時刻」「一緒に行く人」を保護者に伝え、帰宅時刻が遅れるようなら保護者に知らせるようにする。
- エ 友達と二人連れなら安全だから、暗い道でも平気だし、近道をする。
- オ 夜の帰宅になり、駅に着いたが、明るい道だから、保護者への連絡はしない。

【参考】神奈川県青少年保護育成条例（深夜外出の制限）第3章 第24条 第1項
「保護者は、特別の事情がある場合のほかは深夜（午後11時から午前4時までの間をいう）に青少年を外出させてはならない。」



外出の仕方や道の選び方について、保護者と約束したことを書いておきましょう！

チェック③

自分の防犯行動を保護者と一緒にチェックしよう！

■声をかけられたり危険な目にあいそうになったりしたときは、勇気をもって行動することが大切です。

次のことについて、できていればその欄にチェック（✓）して、できていなければ改善しましょう。

- ア 危険を感じたら「すぐ逃げる」「車に乗らない」「大声で助けを呼ぶ」「大人に知らせる」など、被害にあわない方法を保護者と確かめている。
- イ 友達がこわい思いをしていると感じたら、急いで近くの大人や保護者、学校に知らせる。
- ウ 110番への連絡の仕方や伝える内容について、保護者と一緒に練習している。
- エ 出かけるときや外で遊ぶときは、なるべく一人では行動しないようにしている。
- オ 夜の外出はなるべく避け、やむを得ず夜になってしまう場合は保護者と連絡を取り合っている。
- カ エレベーターに乗る時は、知らない人となるべく二人だけにならないようにしている。
- キ 一人で留守番をする時は、人が来ても「カギを開けずに対応する」「相手を確認する」「保護者に連絡する」など、保護者とルールを決めている。
- ク 自分・家族・友達の名前や住所、電話番号、顔写真等の個人情報を、不用意に教えない（メール・インターネット等に掲載しない）。
- ケ インターネット等で知り合った人に、不用意に会わない。

保護者と約束した防犯行動を書いておきましょう！

チェック④ 地域の防犯活動について知っていますか？

■地域の様子や地域の防犯活動を知っていることは、安全を守るカギです。

保護者と一緒に欄に（✓）をしながら確認して、自分の安全に生かしましょう。

- ア 「子ども110番の家」や逃げ込める店などが、どこにあるか。
- イ 不審な人物からの声かけの起きやすい場所や見通しの悪い道などが、どこにあるか。
- ウ 地域や保護者による防犯パトロールなど、地域の防犯活動はどんなことが行われているか。
- エ 近所の知り合いの人や防犯活動を行っている地域の人たちに、積極的にあいさつしているか。
- オ 夜道の帰宅はなるべく避け、帰宅が遅くなる場合の帰宅のルートや連絡方法を確認してあるか。
- カ 人通りの少ない道路や見通しの悪い路地は、なるべく一人だけにならないように常に注意しているか。
- キ 地域の道を保護者と一緒に歩いて、危険なところや気を付けるところを確認しているか。



自分の役に立つ地域の防犯活動について保護者と調べたことを書き出しておきましょう

チェック⑤ 我が家の防犯の約束と防犯連絡先

■いざという時や助けが必要な時にすぐに連絡できるよう、連絡先や連絡の方法を保護者と相談して、決めることが大切です。

危険を感じた時に逃げ込める店や家などを書き出しておこう！

保護者と相談して、身近な地域に、助けを求めることのできる店や家を探しておこう。保護者とあいさつに行こう。

助けを求める店や家	電話や場所
さん	
さん	
さん	
さん	



私と家族の確認



■保護者や家族の連絡先を書き出しておこう。

まず、①に連絡する。連絡がとれない時は②に連絡する。



さらに、連絡がとれない時は③④に連絡する。



誰に	電話番号や連絡先 場所や住所など
①	
②	
③	
④	

■電話のかけ方や伝え方の練習をしておこう

(助けの求め方や発生した場所、時間、不審な人の様子など)

- 誰が、どう困っているのか？
- どんなことが起こっているのか？
- いつ、どこで起こっているのか？
- 不審な人の服装や様子はどんなか？
- 他に伝えることはないか？

■緊急時の連絡先

- 警察 = 110番
- 学校 = 電話番号 (- -)

■先生や保護者と相談して安全マップを作しましょう

- よく使う道や通学路
- 「子ども110番の家」やかけ込める家や店
- 交番や学校、郵便局や消防署
- 人通りの少ない道や暗くて見通しの悪い場所

